

## 2023 年度 薬用植物勉強会：金沢大学

日本薬学会北陸支部主催の薬用植物勉強会を以下のとおり開催しました。今年度は 30 名の定員枠を設定したのですが、大勢の申込をいただき 38 名の参加者を迎えて実施しました。今回は「特別回」ということで複数の企画を盛り込みました。①教室でのミニ講座、②マサラチャイ、③当帰葉シフォンケーキ、④当帰の解説。⑤見頃の植物、そして後半は⑥薬用植物園での観察会でした。

ミニ講座では初心者から熟練者まで楽しむことができるよう、「実りの秋」で観察できる果実の成り立ちを「雄しべ」の段階から辿ってみました。また重要な漢方生薬である「当帰」の知識を学ぶと同時に、日本産の原料供給不安であることも紹介しました。その一環として、当帰生産の持続化を試みている白山市の薬草生産組合が販売する「当帰葉粉末入りシフォンケーキ」を提供し、金沢大の研究室配属学生が作成したマサラチャイとともに楽しんでいただきました。

この日は雨模様だったのですが、雨が止んだタイミングに薬用植物園を散策することができました。ザクロ、カリン、カキ、クチナシなど果実類を中心に半分に割るなど、観察しました。

薬用植物勉強会を通じて、薬用植物園の活動、ひいては大学薬学部の活動の一端を市民の皆さんに知っていただけたことと考えています。

- 【実施日時】 令和 5 年 10 月 28 日 (土), 10 時-12 時  
【会 場】 金沢大学医薬保健学域薬学類附属薬用植物園 (金沢市角間町)  
【参加人数】 38 名  
【内 容】 ミニ講座：「植物学の基礎：果実ができるまで」 & 「当帰の紹介」  
試飲 & 試食。薬用植物園の見頃の植物解説 (学生担当)。  
薬用植物園観察会、散策

### 【実施風景】



教室でのミニ講座



学生による見頃の薬草解説



マサラチャイ



薬草シフォンケーキ



薬用植物園観察会